

# 大会概要

## 基本方針

人生100年時代を迎えている我が国では、健康寿命の更なる延伸と、一人一人の意欲や能力などを最大限発揮できるエイジレス社会の構築が重要視されており、幅広い世代の方が元気に活躍でき、暮らすことができる社会づくりが大切になっています。また、地方においては、人口減少が進む中、高齢期の方の豊富な経験や特技などを活かした地域の担い手としての活躍も期待されるところです。第36回全国健康福祉祭とっとり大会では、こうした観点で、高齢期の方をはじめ誰もがのびのびと、そして生き生きとスポーツや文化活動に親しめ、鳥取県の豊かな自然・おいしい空気の中で、各地域から全国へ世代を超えて交流の輪が広がる大会となるよう、次の目標を掲げて開催します。

## 【大会目標】

### 1 いくつになっても生き生きと活動し、心身ともに健康長寿・生涯現役に繋げる大会

人々の生活がいつまでも健康で生き生きしたものになるよう、スポーツや文化活動によって年齢に関わらず心身を鍛え、やる気、自信、達成感、チャレンジ精神、向上心を育み、生きがいを感じながら生涯現役として活躍し続けるきっかけとなる大会とします。

### 2 共にふれあい、分かち合うことで、人と人とのきずなを強く感じられる大会

同じ目標に向けて多くの人とふれあい、喜びや悔しさ、楽しさや感動を分かち合い、時には互いに切磋琢磨し励まし合うことで、強いきずなを結び人生が充実するための大会とします。

### 3 世代や立場を超えた地域内外の繋がりによって、持続可能な地域共生社会を作り出す大会

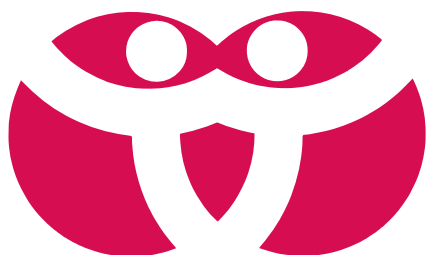
大会を通じ、多くの機会、きっかけ、場面が設けられることで、若い世代への伝達や他地域との親睦、地域産業との触れ合い、地域文化の再発見や継承の促進など、世代や立場を超えて様々な繋がりが生じる中で、各々が互いに新しい刺激を与え合いながら、高齢期の方々も参画する持続可能な地域共生社会を創造するための大会とします。

### 4 ゆったり、たっぷり、ととりの魅力を満喫していただける大会

美しい自然や日本一の星空、各地の名湯、豊かな海の幸と山の幸、癒しの空間“とっとり”を“ゆったり”と“たっぷり”と堪能し、至福の時間を過ごしてもらいながら、鳥取県民の温かい人柄、最高のおもてなしを通して、また鳥取にきたい！とっていただける心ときめく笑顔の絶えない大会とします。

## 大会の概要

- 1 名称 第36回全国健康福祉祭とっとり大会
- 2 愛称 **ねんりんピックはばたけ鳥取2024**
- 3 主催 厚生労働省、鳥取県、一般財団法人長寿社会開発センター
- 4 共催 スポーツ庁
- 5 テーマ **咲かせよう 砂丘に長寿と笑みの花**
- 6 会期 令和6年10月19日(土)～22日(火)
- 7 参加人数 延べ約54万人(観客含む)
- 8 シンボルマーク



老いも若きも仲よく、ともに生きていく社会を二人の人物で表しています。また、2つの円は、その組み合わせにより、お互いに助け合い、健康と福祉の輪が未来に向かって広がっていくことを意味しています。

## 9 マスコットキャラクター



あおや かみじろう

鳥取市青谷上寺地遺跡から出土した人骨をもとに復顔した青谷弥生人「青谷上寺朗」をモチーフにしたキャラクター「あおやかみじろう」を大会マスコットキャラクターに採用しました。

約1800年の時空を越えて復活した弥生人のパワーで「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」を元氣いっぱいに応援します。

# 大会実施状況

## 1 大会実行委員会

令和4年8月に県内関係機関及び関係団体等の代表者152人で構成する「ねんりんピックはばたけ鳥取2024実行委員会」を設立し、第1回総会、第1回常任委員会を開催しました。

実行委員会には、常任委員会と「総務・企画」、「式典・事業」、「宿泊・輸送等」の3つの専門委員会及び「音楽」、「献立」の2つの部会、「美術展」の運営委員会を設置し、具体的な検討を重ねてきました。

また、交流大会会場地市町村でも、実行委員会を設立し、交流大会実施に向けた準備を行いました。

## 2 大会運営体制

鳥取県では、知事を本部長とする大会実施本部を設置し、延べ3,438人の実施本部員と延べ1,862人のボランティアの協力を得て、大会の運営を行いました。

## 3 事業概要

主催事業として、「総合開会式」、「総合閉会式」、「交流大会（スポーツ、ふれあいスポーツ、文化）」等の43事業を、また、会期中には併催事業として、『心豊かに歌う全国ふれあい短歌大会』優秀作品展』を実施しました。さらに、協賛イベントとして、「ネイルでねんりんピックを応援しよう!」、「歯と口の健康相談室」等の26事業が実施されました。



## 4 大会の特色

### 【総合開会式】

- ★荒天のため当日は内容を縮小しながらも、おもてなしの気持ちをもって、鳥取県の魅力を伝える式典を実施しました。
- ★式典前アトラクションとして、倉吉市の和太鼓連「和太鼓 LEGEN 童」による笛太鼓演奏と、県内各地で健康教室を開催する「Fitness Ja-んぐる」による大会オリジナル健康体操『咲花笑』のレクチャーを行いました。
- ★鳥取県立青谷高等学校の生徒が全国67選手団のプラカードを持って式典音楽隊の録音演奏に合わせて行進するとともに、各選手団は自席でアピールしました。
- ★国旗儀礼では、鳥取県出身のテノール歌手の山本耕平さんが国歌を独唱しました。
- ★彬子女王殿下より、おことばを賜りました。
- ★「笑みの花咲く とっとり宣言」では、鳥取県選手団代表とボランティア代表、鳥取ジュニアアスリート代表の計4名が、意気込みなどを高らかに宣誓しました。
- ★メインアトラクション『県民創作パフォーマンス とっとり祝祭劇場 ～ねんりん<sup>ことほ</sup>寿ぎ 笑みの花～』では、地元劇団「鳥の劇場」による情感豊かな演劇と、鳥取県洋舞連盟による創作ダンスや鳥取県東西を代表する「鳥取しゃんしゃん祭」と「米子がいな祭」の共演などをとおして、参加選手たちの健康と長寿を「寿ぎ（祝い）」、大会開催を「寿ぐ」ことで「笑みの花」が会場に満ち溢れるアトラクションをお送りしました。



## 【交流大会】

- ★県内 19 市町村で、スポーツ交流大会 (10 種目)、ふれあいスポーツ交流大会 (13 種目)、文化交流大会 (6 種目) の計 29 種目の交流大会を開催しました。
- ★「バウンスポール」、「e スポーツ」は、とっとり大会で初めて開催されました。

## 【各種イベント】

- ★ねんりん世代から子どもまで誰もが気軽に楽しめるイベントにより、ねんりん世代の元気な活躍ぶりをアピールし、健康長寿や生きがいの大切さを再認識するとともに、来県者が、鳥取の魅力を満喫できるよう、ふれあい広場や地域文化伝承館、美術館などの各種イベントを、鳥取市、倉吉市、米子市、境港市で開催しました。

さらに、同時開催イベントとして「県立美術館おもてなしイベント」、「福高祭 2024 ～アートで福高～」、「食パラダイス鳥取県!まんぷくフェス」、「ご当地体操交流大会×鳥取方式フレイル予防コラボイベント」を実施しました。

## 【総合閉会式】

- ★式典前アトラクションでは、荒天のため総合開会式に参加できなかった鳥取市内の園児達による健康体操『咲花笑』の披露や、映像による鳥取県立鳥取商業高等学校吹奏楽部のマーチング演奏をお届けしました。
- ★メインアトラクションでは、総合開会式の夫婦が再登場し、4 日間の大会の成果を「大会メモリアル映像」や高校生を中心としたコーラス隊、大会ボランティアと共に振り返りました。
- ★次期開催地アトラクションでは、ユネスコ無形文化遺産に登録されている岐阜県郡上市の「郡上おどり」が披露されました。
- ★グランドフィナーレでは、鳥取県出身のバス歌手の小鉄和広さんとソプラノ歌手の佐々木まゆみさんを迎えつつ、コーラス隊や手話コーラス隊をはじめ、全ての出演者と登壇者がステージに登場して、鳥取県にゆかりのある曲「ありがとう」を大合唱し、会場全体が感動で包まれながら総合閉会式は終了しました。



## 5 大会の参加実績

### ★選手・監督、役員等参加者数

	選手・監督	役員等	合計
都道府県・政令指定都市からの参加選手・監督、役員等	8,767	618	9,385

### ★実施本部員等の延べ参加者数 (県関係)

	実施本部員	ボランティア	合計
大会の運営	3,438	1,862	5,300

### ★総合開・閉会式の出演・演奏等参加者数

	出演・演奏等参加者数
総合開会式 (荒天対応)	380
総合閉会式	340
合計	720

### ★延べ参加者数

※晴天時総合開会式参加予定者数 2,100 名

	10月18日	10月19日	10月20日	10月21日	10月22日	合計
ヤマタスポーツパーク (鳥取県立布勢総合運動公園)	—	155,614	193,808	37,608	—	387,030
とりぎん文化会館 (鳥取県立県民文化会館)	—	—	—	—	1,795	1,795
イベント会場	—	21,706	48,539	15,507	2,787	88,539
交流大会会場	65	5,996	36,452	20,769	215	63,497
合計	65	183,316	278,799	73,884	4,797	540,861